

授業科目	* ウィメンズヘルスケア					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	古賀 玉緒、前田 幸、山田 恵						
授業概要	<p>助産師はすべての女性およびその家族の健康増進にむけた支援が求められる。</p> <p>本科目では、講義の他、課題やディスカッションなど取り入れながら進めていく。その中で、ライフステージ各期の身体的・心理社会的な特徴や変化に関する基礎的知識をふまえ、リプロダクティブヘルス/ライツの重要性、女性がおかれている社会状況やジェンダーにまつわる健康、特別に支援を要する女性の健康、社会における多様性に関する健康などウィメンズヘルス全般について学修する。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床で医師・看護師・助産師としての実務経験を有する教員が教授する。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	グループワーク、ディスカッション				

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. ライフステージ各期における対象の特徴やセクシュアルリプロラクティブ・ライツ/ヘルツの概念を説明できる。(DP1-1) 2. 特別に支援を要する対象の特徴を説明できる。(DP1-1) 3. ライフステージ各期のウィメンズヘルスケアについて根拠をふまえて説明できる。(DP2-1) 4. ウィメンズヘルスケアに関する課題に意欲的に取り組むことができる。(DP3-1) 5. ウィメンズヘルスケアを実践するうえで助産師として必要な態度について述べることができる。(DP3-2)
理想的レベル	標準的レベルに到達したうえで、女性を取り巻く社会状況やセクシュアルリプロラクティブ・ライツ/ヘルツの概念をふまえて、ウィメンズヘルスケアに携わる助産師の役割について、自分の意見を述べることができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験	75%	再試験は筆記試験にて評価します。
小テスト	0	
レポート	15%	講義中に提示する課題レポート(3回)にて評価します。
発表(口頭、プレゼンテーション)	0	
レポート外の提出物	0	
その他	10%	授業における発言や積極性レポートの提出状況にて評価します。

## カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	MI21208J
学習課題(予習・復習)								1回の目安時間(時間)	
・ライフステージ各期に関するレポートを作成する。(テーマは別途提示する)								4	

## 授業計画

第1回	<p>生涯における女性のケア（1）（古賀 玉緒）          ウイメンズヘルスケアの概論          ・女性のライフステージの特徴と健康課題について解説する。          女性の生涯と社会の移りわりとの関連および健康課題に関する社会資源の情報及び支援について</p>
第2回	<p>生涯における女性のケア（2）（山田 恵）          思春期女性のケア          ・思春期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。          思春期のセクシュアリティの発達について          二次性徴に関する正しい知識の獲得及び対応について          プレコンセプションケアについて          性感染症予防の啓発について</p>
第3回	<p>生涯における女性のケア（3）（山田 恵）          成熟期女性のケア          ・成熟期女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。          不妊に悩む女性への支援について          ドメスティック・バイオレンスに悩む女性への支援について          月経障害で悩む女性への支援について</p>
第4回	<p>生涯における女性のケア（4）（古賀 玉緒）          中高年期の女性のケア          ・更年期・老年期の女性を取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。          更年期・老年期の特徴および健康問題とヘルスケアについて</p>
第5回	<p>特別に支援を要する女性へのケア（1）          （前田 幸）          ・マイノリティな性をもつ女性取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。          性科学の概念について</p>
第6回	<p>特別に支援を要する女性へのケア（2）          （前田 幸）          ・マイノリティな性をもつ女性取り巻く現状と健康問題及び支援について解説する。          性の多様性について          ・講義をふまえてグループワークを行う。</p> <p>女性の健康課題に対する助産師の役割を学ぶ。（古賀 玉緒）          ・事例を用いて女性の健康課題に対する支援についてデスカッションを行う。</p>
第7回	<p>特別に支援を要する女性へのケア（3）（外部講師）          ・不妊に悩む女性への支援について解説する。          不妊に関する現状と治療について</p>
第8回	<p>特別に支援を要する女性へのケア（4）（外部講師）          ・不妊治療を受けている女性・夫婦・カップル等の支援について解説する。</p>

	家族を含めた支援と他機関と連携する必要性について不妊治療を受ける女性のケアについて
テキスト	助産師基礎教育テキスト 2024年版第2巻 ウイメンズヘルスケア 吉沢豊予子編著 日本看護協会出版社 病気がみえる Vol.9 婦人科 第4版, 井上裕美他監, MEDIC MEDIA
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	助産学講座2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座5 助産診断技術学I 第6版 堀内成子他編 医学書院 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版 我部山キヨ子他編 医学書院 助産師による思春期の健康教育 公益社団法人 日本助産師会 妊娠 蔵本武志著 文芸社  随時資料を配布します。  教材：婦人体温計（各自準備）
課題に対するフィードバックの方法	提出物はコメントをして返却します。
学生へのメッセージ・コメント	助産の重要な専門科目であり、広い分野に応用できる内容です。 テキストは熟読し、さらにメディアや文献などからも女性の健康について情報を収集し、思春期・成熟期・更年期および老年期各期の女性の健康問題や健康課題について、自分の考えをまとめ述べられるよう準備しておきましょう。 原則、授業中の携帯電話の使用は禁止します。

